

アプロンⅡがV登録

大和クレス 活用効果で高評価

定できるのでコスト削減にも寄与する。

大和クレス（本社、岡山県岡山市中区藤原西町二一七―三四、社長 Ⅱ林壮治氏）が開発したプレキャスト製張出歩道「アプロンⅡ」がNETISの事後評価済み技術となつた（NETIS・SK-060015-V）。

活用効果評価では、「基礎コンクリート以外のコンクリート打設

が不要となり、コンクリート量、打設回数が減るため、工程、施工性に優れる。また、現場でのコンクリート品質管理項目の減少、プレキャスト製品による出来形管理項目の減少により、品質・出来形

に優れる」との評価と共に「設計比較対象技術となる」と比較設計対象技術登録へ含みを持たせる内容の所見を得た。この他にも「従来技術に比べて活用の効果は優れている。活用の条件の違いに対する評価の安定性を有し、多くの現場で良い評価を得ている」との評価も得た。

アプロンⅡは底版部・側壁部・床版部で構成された片持式のプレキャスト製張出歩道。現場打設した基礎コンクリートと製品をアンカーボルトで連結して縦・横方向を一体化させ、歩道の設置や拡幅を

アプロンⅡ

図る。基礎コンクリートの代わりにプレキャスト製の基礎板を使用する完全ドライ工法も可能。製品背面にカウンタウエイトとしての現場打ちコンクリートの打設が不要なため、側溝・ガードレール等が設置でき多用途に使用できる。また現況に沿って擁壁のように高さの調整が可能できるので、製品の形状を変える事無く現場条件に合わせて歩道の幅・高さを任意に設

